

IAMAS 2016 Graduation and Project Research Exhibition

情報科学芸術大学院大学 第14期生 修了研究発表会 プロジェクト研究発表会



会期

2016年2月25日(木) - 2月28日(日)

会場

ソフトピアジャパン・センタービル

(岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7)

開場時間

10:00 - 18:00 (初日のみ 13:00 - 18:00)

入場無料

公式サイト

<http://www.iamas.ac.jp/exhibit16/>

主催

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

お問い合わせ

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7

TEL : 0584-75-6600

FAX : 0584-75-6637

URL : <http://www.iamas.ac.jp/>

MAIL : event@ml.iamas.ac.jp

 IAMAS

■ごあいさつ

このたび、IAMAS（イアマス）は「IAMAS 2016」と題して、第14期生による修了研究発表会および2015年度のプロジェクト研究発表会を開催します。本学にはデザインやアート、情報科学を中心に、しかしそこに留まらない多彩なバックグラウンドを持つ人材が参集しています。この環境の中で学生は日夜議論を交わし、互いに刺激し合い、協力し合いながら個々の専門性を活かした研究を行ってきました。2年間という短い期間の中で、さまざまな表現や先端技術について学び、学生が互いに触発し合うことで生み出された発想と、その集大成として制作した研究作品の数々をここに発表します。また、学生の作品発表と並んで、プロジェクト研究発表会を同時に開催します。IAMASではデザインやアート、地域社会との交流など、様々な領域を包摂する複数のプロジェクトが、メディア表現の社会的・文化的な実践として作品制作や研究を進めています。「IAMAS 2016」は学生の修了研究発表に併せて、本学の研究活動を同時にご覧頂ける、IAMAS全体の展覧会でもあります。

今年度のメインテーマは「そして、これから」です。私たち14期生はIAMASがソフトピア地区に移転して最初の学生です。新しい時代を作っていく私たちは、日々変化していく環境の中で常に先を見据えています。学生の表現も、いまの社会より、来るべき社会を想定したものが多くあります。いままでの歴史を経て、「そして、これから」の世界を問いかけていく「IAMAS 2016」にどうぞご期待ください。

IAMAS 2016 実行委員長 伊藤 大作

■IAMAS とは



情報科学芸術大学院大学 (Institute of Advanced Media Arts and Sciences) は英語の略称をとって IAMAS (イアマス) と呼ばれ、親しまれています。

IAMAS は先端的技術と芸術的創造との融合を理念に掲げ、新しい文化を発信する教育機関として、また情報社会の中での新しい表現者の養成拠点として開学しました。



以来、メディア文化・産業の広汎な分野で活躍する人材を数多く輩出し、国内外から高い評価を得ています。社会や時代の変化と共に本学の活動も多領域に亘ったものとなってきており、新しい仕組みや道具を生み出すインタラクティブデザインやメディアプロダクト、新たな表現を創造するメディアアート、新しい社会のあり方を提案するソーシャルデザインなど、未知の領域を開拓する魅力に満ちています。そこには、新しいものを生み

出したいという強い意志を持った、幅広い分野の経験や見識を持った多様な教員や学生が集い、お互いに触発し合うことで、現代社会における様々な物事に対して新たな挑戦をしています。多様な人々が深く関わ合いながら研究制作を行える場であるということそのものが、IAMASの非常に大きな魅力と言えます。

IAMASは平成26年4月にソフトピア地区へ移転しました。様々な組織や活動、情報などが集積する地において、より広範な活動が可能となり、また、地方都市におけるメディア表現の新しいあり方を実践していくという意味においても、新たなスタートとなりました。社会の変化と共にIAMASの活動の方向も拡大してきていますが、移転後もこれまでの研究制作環境を維持しながら、メディア表現の可能性を追求すると共に、学内のみならず外部ともより幅広く連携した活動ができるオープンなキャンパスとして、社会に成果を問いかけながら、新しい文化を発信し続ける大学院として発展してまいります。

IAMAS 2016 は、昨年と同様に、修了研究発表会と、教員・学生によるプロジェクト研究発表会の同時開催となります。

■ 第14期生修了研究発表

さまざまな表現や技術を用いて、今年も既存の枠にとられないユニークな研究が誕生しました。IAMAS での2年間の集大成として、独自の発想によって生まれた修士作品の数々を展示・発表します。また、会場では修士論文もご覧いただけます。

出展者一覧

Scott Allen / 伊藤 大作 / 大久保 雅基 / 大澤 悟 / 大野 陸昌 / 大山 千尋 / 北堀 あすみ / 櫻井 亮大 / 篠田 篤 / 島影 圭佑 / 瀬長 孝久 / ソル スンジェ / 竹内 環 / 富塚 裕美 / 永田 美樹 / 日栄 一真 / 東谷 俊哉 / ユキ・ヒライ / 蛭澤 法子 / 古郡 唯希 / 山本 一彰

修士作品発表 修士作品のパフォーマンス、上映を行います。

【日時】 2.25(木) - 2.28(日) 16:00 - 16:30

山本 一彰 『算道』

【日時】 2.25(木) - 2.28(日) 17:00 - 18:00

1. 大久保 雅基 『どこかの日常』

2. 伊藤 大作 『即興独劇』

3. ユキ・ヒライ Snow White MS case1 #9 「Jhoe」

出展作品例



Excessive Motion

大澤 悟

ものの動きをデザインに取り入れる試み。ものがインタラクティブに動くと、人はメタファを過剰に感じることもある。動きをデザインする上では、このメタファを慎重に扱う必要があると考える。



おばあちゃんをつくることをつくる

富塚 裕美

高齢者の暮らしの中で生まれる小さな創造を地域社会で活かすためのデザイン。おばあちゃん達のさまざまな力を地域で活かしていくための構造を考え実践することにより、高齢者と地域社会の新しい関わり方の提案する。



囁きの計算機

東谷 俊哉

囁くことで始まる思考実験。マジョリティーが支配する概念から脱却し独自のコミュニケーションの方法をとる私たちは、日々の倫理的問題に対し新たな見解を獲得する。



算道

山本 一彰

算道とは新たに開発した計算完備な計算手法「論理珠算」を用いて、計算の宇宙を探求する道である。

第19回メディア芸術祭アート部門新人賞受賞作品。 <http://sando.monophile.net/>

※ほか約17作品を展示いたします。

■プロジェクト研究発表

プロジェクトは、メディア表現領域の社会的な意義をはかりながら、高度な研究成果や技術開発を目指して、領域横断的に運営される授業群です。今年 IAMAS の研究活動の主幹として、多領域に渡るプロジェクト研究が活動しました。「IAMAS 2016」では修士研究発表に加えて、これらプロジェクト研究の成果を展示します。

「IAMAS 2016」では修士研究発表に加えて、これらプロジェクト研究の成果を展示します。

プロジェクト研究発表会（プロジェクト一覧）

アートを／で考える

あしたをプロトタイピングする

IAMAS 図書館

HDII 高精細映像技術を用いた表現研究

Craft, Fabrication and Sustainability

これからの創造のためのプラットフォーム

3D スキャニング技術を用いた

インタラクティブアートの時空間アーカイブ

車輪の再発明

体験拡張環境

根尾コ・クリエイション

福祉の技術

美濃のいえ

メディア・地域・鉄道

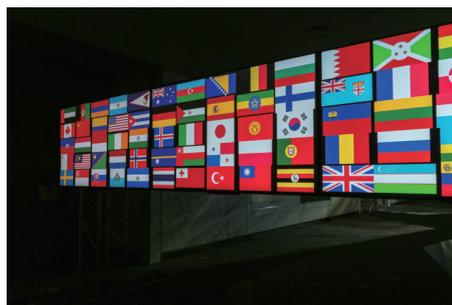
メディア表現アーカイブ

ものづくりオープンメソッド

産業文化研究センター（RCIC）



根尾コ・クリエイション



HDII 高精細映像技術を用いた表現研究

プロジェクト紹介ツアー

ご来場の皆さまにプロジェクトの研究成果についてより深くご理解いただけるよう、展示ツアーを設けました。ツアー形式でそれぞれのプロジェクトの説明を受けながら展示会場を巡回します。

【日時】

2.25(木) 14:00 – 15:00

2.27(土) 14:00 – 15:00

2.28(日) 14:00 – 15:00

※5分前までにお集まりください。

【場所】 3F ソピアホール エントランス

【予約】 事前予約は必要ありません。

お問い合わせ

プロジェクト研究発表に関するお問い合わせはこちらへお願いします。

IAMAS 産業文化研究センター（担当：高尾）

TEL : 0584-75-6606 MAIL : rcic@ml.iamas.ac.jp

■ 関連イベント

2.25(木)

13:00 – 13:30 **オープニング・セレモニー**

2.26(金)

13:00 – 15:00 **トークイベント「21世紀型産業文化のつくり方」**

IoTに代表されるハードウェアスタートアップやソーシャルビジネスの分野での資金調達方法として、近年クラウドファンディングが注目されています。国内では世界に先駆けて投資型ファンディングが解禁され、その活用者も個人やベンチャー／中小企業と様々で、その活用事例もますます多様化してきています。このトークセッションでは実際の事例をもとに、クラウドファンディングによって可能になる、新たな産業文化形成の可能性について、活用者や事業者と議論します。

【登壇者】大橋博行（有限会社大橋量器 代表取締役）／河瀬麻花（ネコリパブリック 首相）／木内文昭（Makuake 取締役）／Julie Watai（フォトグラファー／アーティスト）／白鳥啓（株式会社間チルダ 代表取締役）／松崎良太（きびだんご株式会社 代表取締役 Chief Momotaro）／小林茂（IAMAS 教授）



小林茂

2.27(土)

13:00 – 16:00 **ライブ・パフォーマンス IAMASONIC**

18:00 – 20:00 **ウェルカム・パーティー**

来場者の皆様と IAMAS の学生・教員との親睦を深めるためのパーティーを開催いたします。どうぞご参加ください（参加費無料）。

2.28(日)

13:00 – 17:00 **トークイベント「民主主義 – それぞれの視点から」**

「民主主義」をテーマに全3部構成のトークセッションを行ないます。第1部ではデザイナーの牛込陽介氏、第2部では現代美術家／演出家の高嶺格氏の活動に焦点を当てたトークを行ない、第3部では研究者／思想家／起業家の鈴木健氏を進行役に3名のゲストで「民主主義」について議論していきます。

第一部「社会設計としてのフィクション」

【登壇者】牛込陽介（デザイナー）×城一裕（IAMAS 講師）

フィクションの設計が SF 作家の手から離れ、デザイナーへと開かれたとき、何が起ころのか。本トークでは平行世界を作品によって想像させることによる批評性や、デザイナーが持つ設計領域の拡張について議論していきます。

第二部「傍観者から当事者へ」

【登壇者】高嶺格（現代美術家／演出家）×松井茂（IAMAS 准教授）

現在、観客が作品を鑑賞する立場から「関わる立場」へと変化し、作家は観客の立ち位置を再考する必要性が出てきました。本トークでは観客を巡る問いや、作品上における作家自身の役割について議論していきます。

第三部「民主主義 – それぞれの視点から」

【登壇者】鈴木健（研究者／思想家／起業家）×牛込陽介 × 高嶺格

鈴木健氏を進行役に、3人のゲストがそれぞれの立場から「民主主義」について議論します。同一の問題に対して異なる態度や手法によってアプローチする3人が議論することで、新しい視点を生み出すことを試みます。

18:00 – 18:30 **クロージング・セレモニー**



牛込陽介



高嶺格

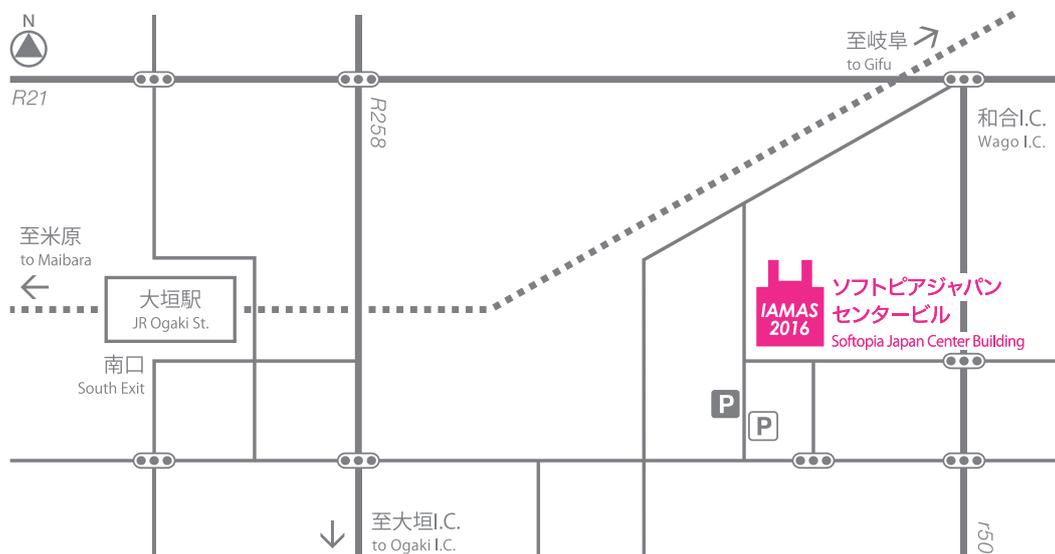


鈴木健

■ アクセス

ソフトピアジャパン・センタービル

〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7



お車でお越しの方

国道21号線：和合ICから車で約2分

名神高速道路：大垣ICから車で約20分

岐阜羽島ICから車で約25分

公共交通機関でお越しの方

東京方面から

東京－名古屋：新幹線 100分

名古屋－大垣：JR 東海道本線・新快速 30分

大阪方面から

新大阪－米原：新幹線 40分

米原－大垣：JR 東海道本線 30分

大垣駅から

タクシー：JR 大垣駅南口から 約10分

バス：名阪近鉄バス（大垣駅南口3番のりば 羽島線・ソフトピア線 ソフトピア方面行き
ソフトピアジャパン下車）約10分

■ 広報に関するお問い合わせ

取材にお越しいただく際は、件名に「IAMAS 2016 取材申込」とご記入の上、事前に下記メールアドレスまでご連絡ください。また直接ご来場いただきました際にも、取材の対応をさせていただきます。

IAMAS 事務局：event@ml.iamas.ac.jp